

2023年度（令和5年度）自己評価

本校は、学校教育法および同施行規則に則り学校評価制度を制定し、文部科学省が定める「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って「学校評価」を実施しております。「学校評価」を実施するに当たり、最初のステップとして基礎的な資料を得るために毎年2月に生徒及び保護者へのアンケート調査を行っています。アンケート結果を踏まえて自己評価を実施しております。自己評価につきましては、学校評価委員会で議論し、教育活動の一層の向上につなげるよう努力しております。

前年度[2022年4月～2023年3月]の学校運営・教育活動等について教職員による自己評価を下記に公表致します。

関西外語専門学校 国際高等課程

学校長 花畑 好一

1. 本校の教育目標、教育方針

「生きた英語力」を身につけて国際舞台で活躍できる「真の国際人」を育成することが本校の教育目標です。このためには、グローバル化社会の中で、幅広い教養と自分の考えをもって主体的に生きることができるよう教育を施しています。なお、この教育方針の背後には、生徒を1人の人間として大切に育むという、法人全体の教育理念「血の通った教育の場」が脈々と流れています。

具体的な教育方針は次の通りです。

- 1) 「生きた英語力」を研ぐため、授業の中でできるだけ多く英語を使用する。
- 2) 国際力を研ぎグローバル社会に通用するよう育むため、日本人教員に加え、諸外国の教員による授業を実施することで、国際理解を深め、多様な考え方や価値観に触れさせて、多様性を受容する広くて柔軟な心を育む。
- 3) 少人数授業を大切に、ディスカッションやプレゼンテーションなどの参加型教育（アクティブ・ラーニング）を授業に取り入れ、自ら学ぶ姿勢、自分で考え発信する能力及びコミュニケーション力を育成する。
- 4) 将来進路に備えるための基本的な学力・教養教育を大切にする。
- 5) 個性と自由を尊重すると同時に、グループ・集団で活動できるよう規律、協調、コミュニケーションを大切に、互いに認め合い協力する姿勢を涵養する。

2. 2022年度（令和4年度）の重点的な取組事項

1) コロナ感染症対策

コロナ感染防止対策を実施しつつ、ICTを活用の上で、できる限り対面での教育活動継続に尽力する1年となった。

2) 6レベルによる習熟度別クラス、少人数クラスを堅持

昨年度に引き続き6レベル展開(計11クラス)で授業を行った。また、学年クラス・英語クラスとも少人数制を堅持した。

3) 模擬国連大会の対面での実施

英語教育に加え国際教育を推進するため重点的に取り組んでいる模擬国連大会について、京都大会(京都外大西高校主催)がオンライン・対面併用実施となる中、本校主催の大阪大会は対面で実施した。ホテル(都シティ大阪天王寺)において本校に加え立命館高校など計9校で実施し、生徒たちは前向きに取り組んだ。また、校内模擬国連大会についても、伝統を維持し下級生にノウハウを継承するため、感染防止に努めつつ2・3年生を対象に2月下旬に大阪国際交流センターで実施した。

4) 英語スピーチコンテストの実施

例年、本館2F大教室に一堂に会して実施している英語スピーチコンテストについて、感染防止に努めながら本館2F大教室(AV教室)において感動的なスピーチコンテストを実現することができた。

5) 3年生の多様な進路に対応する受験指導

3年生50名の希望進路に対応し、集中科目を開講するとともに、大学・短大・専門学校の総合選抜型入試(旧:AO入試)・グローバル入試、推薦入試(指定校・公募制)、一般入試の受験指導に加え、海外留学、就職など多様な希望進路に対応し受験指導を行った。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標など

	評価項目	評価
教育理念 目標など	教育理念が定められているか	4
	教育目標が明確にされているか	4
	教育目標は社会のニーズに適しているか	4
	教育目標や方針は生徒・保護者・社会に周知されているか	4
	教育方針は教育目標を実現する適切なものとなっているか	4
	社会のニーズを踏まえた将来構想が描けているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

2022年度はコロナ感染防止に努めつつ通常の対面による教育活動に尽力する1年となった。ロシアによるウクライナ侵略は国際社会に大きな影響を及ぼし、世界経済や国際社会の結びつきの強さを明らかにした。諸国・諸地域がグローバルに結びついており、世界共通言語としての英語の必要性は今後もますます高くなっていくものと思われる。

本校は専修学校高等課程という強みを活かして、外国人教員の授業を数多く配置

し、カリキュラムを柔軟に編成し、学習言語としての英語力を強化しつつ「コミュニケーション・アプローチの英語教育」、そして実践的な国際教育を推進している。本校の教育方針及び教育は、時代の先端を行くものと評価できると考えている。

(2) 学校運営

	評 価 項 目	評価
学校運営	教育目標に沿った運営方針が策定されているか	4
	事業計画・中期計画に沿った運営が実施されているか	4
	適正な教育活動を実施するため、職員会議は定期的実施されているか、また、有効に機能しているか	4
	人事・財務などの意志決定組織は整備されているか	4
	地域社会等へのコンプライアンス体制が整備されているか	4
	教育活動に関する情報公開は適切になされているか	4
	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

今後とも日本がグローバル化の流れに乗っていくことを前提に、実践的英語力・国際力の必要性に対応するため、運営方針・事業計画・中期計画は教育目標に沿って策定している。

職員会議は原則、週1回実施しており、教職員が適切に学校運営や教育活動に携わることができるように情報の共有化を図り、諸事項を調整の上、諸課題に対応すべく意思決定を行っている。

諸規程については法人全体に関わる規定は法人本部及び総務部が管轄管理し、本校教育にかかわる規程については本校で案を策定し、理事会等の上部機関の承認を経て決定されている。規程策定においても日常の学校運営においてもコンプライアンスには常に留意している。

情報公開については、ホームページ、学校案内・募集要項などの印刷物において適宜行っている。

なお、情報システム化、事務の効率化は順次進めている。iPad 端末による出席管理システムは2015年度当初より導入し、生徒数・クラス数増に対応した。導入8年目となり、不具合が生じることもあるが、適切に対処しつつ基本的には順調に運用している。今後とも、システム化・効率化は推進して行きたい。

(3) 教育活動

	評 価 項 目	評価
教育活動	教育目標に沿ってカリキュラムが編成されているか	4
	専修学校設置基準や教育目標に沿った授業時数や学習時間が確保されているか	4
	カリキュラムは体系的に編成されているか	4
	カリキュラムは時代の変化や現実社会の必要に対応しているか	4
	授業計画及び内容は、現実社会との関連したものとなっているか	4
	少人数授業は堅持されているか	4
	授業の多くは、参加型授業（アクティブ・ラーニング）となっているか	4

	「生きた英語」教育は施されているか	4
	国際教育は施されているか	4
	模擬国連の指導は実施されているか	4
	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
	海外研修・ホームステイなどの国際交流プログラムは計画・実施されているか	3
	情報教育は実施されているか	3
	衛生・保健教育は実施されているか	3

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

カリキュラムは、本校教育の最重要事項として、検討・改善を重ねている。「生きた英語」教育、国際教育は、各教科の基本事項・重要事項をおさえつつ、現実社会で起こっている諸問題・諸課題を取り上げて授業を展開している。大学入試改革対応すべく2・3年生を対象に「選択必修科目」を設けており、生徒個人の進路に応じて科目選択を可能としている。2022年度の高校新学習指導要領スタートに合わせて本校においても教育課程を改訂した。

授業方法においては、教員が一方的に知識を教える従来型の教授法（講義型授業）でなく、生徒が自ら考え発信するスタイルの授業を重んじている。少人数制の参加型授業（アクティブ・ラーニング）を数多く実施し、現実社会で起こっている諸課題についてディスカッションやプレゼンテーションの機会が多いこともあり、生徒アンケートで「授業が楽しい。」と答える生徒が多く、9割以上の生徒が「世界のことや国際的なことをこの1年でたくさん学んだ。」と回答し、9割前後の生徒が「授業は自分にとって有意義で、多くのことを学んでいる。」「授業のおかげで、この社会やいろんなことに興味を抱くようになった。」と答えている。一方、科目によっては文科省が定める高校の学習指導要領に則った分量を授業で取り扱う必要上、講義型授業も実施している。

英語教育は習熟度別クラス編成を採用し、集中授業では選択制で個人の学習ニーズや興味に沿って履修できるようにしている。本校独自の英語カリキュラムにより9割近くの生徒が「昨年の4月に比べて自分の英語力は向上したと思う」と答えている。なお、習熟度別クラス編成・選択制科目実施のためには膨大な出席・成績に関わる事務が発生していることも付記しなければならない。

模擬国連大会は、関西高校模擬国連大会（京都大会）は一部オンラインでの実施となったが、双方向コミュニケーションが困難な中で参加生徒たちは全力で取り組んだことを評価している。本校主催の模擬国連大阪（大阪大会）は第8回目の開催であったが、本校のほか立命館高校など計9校から約150名の参加となった。

「Achieving Gender Equality and Empowering all Women and Girls（ジェンダー平等の達成とすべての女性・少女のエンパワーメント（社会的地位の向上と経済能力の向上）」という議題について積極的に議論できたことを評価している。

なお、例年1・2年生対象に実施している海外研修は海外渡航状況及び航空運賃高騰を考慮し、国内研修旅行（長崎方面）に変更して実施した。また、3月には希望者（全学年）を対象にイギリス・ボーンマスでの語学研修を実施した。

(4) 生徒指導・進路指導

	評価項目	評価
生徒指導	基本的な生活習慣の確立のための取組が行われているか	4
進路指導	基本的な学習姿勢の確立のための取組が行われているか	4
	生徒・保護者からの相談体制は整備されているか	4

	いじめ防止対策が施されているか	4
	学校の秩序を維持するための取組が行われているか	4
	進路説明会や進路のための情報提供は行われているか	4
	大学受験模試は実施されているか	4
	進路のための生徒面談は行われているか	4
	進路のための三者面談は行われているか	4
	受験対策指導は行われているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

本校は、一定量の宿題を課し、予習復習を基本とする教育を実施している。コロナ禍の中にあっても生徒の多くが基本的な生活習慣・学習習慣を確立していると評価している。但し、思春期の特徴でもあるが、中にはサポートや指導を必要とする生徒も在籍しており、クラス担任を中心に指導・ケアしている。臨床心理士や保健室看護師によるカウンセリングを受けた生徒もいた。

進路指導は、少人数教育の特徴を活かして、生徒個人の希望に対応するため、生徒面談、三者面談など1人当たりの生徒に時間をかけて指導している。情報提供のためには2022年度も大学・専門学校の教職員を招いて分野別説明会を実施した。また、ホームルーム等を利用して将来進路について考える取り組みを行った。海外留学については台湾進学ゼミなど専門の教職員による説明会を実施するとともに、教職員による留学指導も実施した。なお、春休みや夏休みには大学・専門学校等のオープンキャンパスに積極的に参加するよう指導している。また、天王寺という地の利を活かし、授業終了後に近隣施設で実施される進学イベント参加も促している。

(5) 特別活動等

	評価項目	評価
特別活動等	新入生歓迎プログラムがあるか	4
	生徒交流活動が実施されているか	3
	伝統文化活動あるいは芸術鑑賞は実施されているか	4
	課外活動は実施されているか	3
	防災教育・訓練は実施されているか	4
	学外でのコンテストやイベントに参加しているか	4
	生徒会は機能しているか	4
	卒業生を祝福するイベントは実施されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

アットホームな校風を維持し、学年を超えた生徒間交流を促進する努力は課外活動・ハロウィンパーティを中心に毎年実施している。2022年度は5月に生徒会を中心とした運動会、7月にUSJでの交流会、10月にハロウィンパーティを実施した。

国際人とは、世界のことを知るばかりでなく、自国（日本）を知り「自国（日本）を語る人」であり、同時に芸術的な素養も大切であると考えている。このため、伝統文化活動あるいは芸術鑑賞を毎年実施し、日本の伝統文化や芸術に接する機会を提供している。2022年度は宝塚歌劇を鑑賞した。防災教育については2月に防災教育専門家を招いての研修会を実施した。

(6) 学修成果

	評 価 項 目	評価
学修成果	英検の合格状況はどうか	4
	文章検定の合格状況はどうか	4
	英語偏差値は伸びているか	4
	大学等への進学状況は希望に合致しているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

過去6年間の卒業生の実績詳細は学校案内に記載している。2022年度卒業生の進路については、ほぼすべての生徒が希望進路を実現した。希望進路実現に必要な英語力について、英検では76%の卒業生が2級・準1級・1級に合格している(準1級・1級では16%)。英検を受験するように指導しているが、2級未合格の生徒が受験しない事例も発生しており、本校卒業までに2級・準1級に合格することは生徒個人の将来にとって有益であると考えられるので、受験しやすい環境を整えるため2023年度より本校校舎を準会場とすることとした。

(7) 生徒支援・学費・奨学金

	評 価 項 目	評価
生徒支援	就学支援金の紹介や受給手続きはできているか	4
	大阪府授業料支援補助金の紹介や受給手続きはできているか	4
	大阪府育英会の紹介や受給手続きはできているか	4
	日本学生支援機構・予約奨学金の紹介や受給手続きはできているか	4
	その他の奨学金等の紹介や受給支援はできているか	4
	保護者との連携はできているか	4
	担任教員等による生徒支援はできているか	4
	臨床心理士による生徒支援はできているか	4
	卒業生への支援体制はあるか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

就学支援金、大阪府授業料支援補助金はさくら連絡網でも随時案内している。また、学校でもオリエンテーション段階より説明する機会を設け、受給手続きについても適格に実施している。なお、所得など条件により受給金額が異なる複雑な制度であるため、プロジェクターを使って視覚でもわかるように説明しており、保護者からの問い合わせにも大阪府に相談しながら的確に対応している。保護者との連携については、コロナ禍を考慮し感染防止に努めながらPTA総会(年4回実施)及び学級PTAを実施し、分野別進路説明会など教育活動を保護者に理解していただける機会を設けている(学級PTAは2022年度に導入)。高校生活を支援するため臨床心理士による面談を全校生徒対象に実施した。なお、卒業生支援については、大学編入のための受験支援や留学支援などを行っている。実際、特に用事がある訳でもないが、卒業生がしばしば本校を訪れて頑張っている姿を見せてくれている。なお、校友会・同窓会組織の立ち上げが課題となっている。

(8) 教育環境

	評 価 項 目	評価
教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
	防犯・防災に対する体制は整備されているか	4
	コロナ感染症対策は適切に実施されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

施設・設備について、2014年後期より別館（全面的に耐震補強及び内装外装を施し新築に近い仕様の校舎）を使用しており、少人数授業に適した教室数を十分確保でき、学年単位で授業や諸活動ができる大教室も確保している。各階に防犯カメラを設置しており、校舎入口に受付を設けて外部侵入を防いでいる。守衛が校舎を定期的に巡回することで生徒の安全管理に努めている。

(9) 生徒の受入れ募集

	評 価 項 目	評価
生徒受入 募 集	中学校等接続する機関に対する情報提供等の取組は行われているか	3
	ホームページでの情報提供は行われているか	4
	学校案内・募集要項等の印刷物での情報提供は行われているか	4
	オープンキャンパスでの情報提供は行われているか	4
	生徒募集活動において、資格取得・進学状況等の情報は正確に伝えられているか	4
	生徒納付金は妥当なものとなっているか	4
	オリエンテーションは実施されているか	4
	入学前学習は実施されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

大阪府及び近隣府県の中学校への情報提供については、学校案内・募集要項・進路実績・入試合格状況など送付している。また、受験する可能性のある生徒については、在籍中学校を訪問して教育方針や指導方針、教育の概要、入試などについて伝えている。但し、教職員数の制約上、網羅する形で中学校を訪問しての情報提供はできていない。

なお、一般的な情報提供としてはホームページ充実による情報提供に取り組んでいる。ホームページ・ブログ欄で教育活動や英検等合格状況の最新情報の掲載に取り組んでいる。ブログ記事も頻繁にアップし、教育への取り組みを公開している。ツイッターの公式アカウントも開設し、ブログ記事などを発信している。インスタグラムでの発信も行っている。

なお、3月末に実施している新入生オリエンテーションとは別に各入試の合格発表後に合格者オリエンテーションを実施しており、入学前までに事前学習ができるよう工夫している。

(10) 財務

財 務	評 価 項 目	評価
-----	---------	----

	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
	財務・決算書類において会計監査は適正に行われているか	4
	財務状況は適正に公開されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

学費値上げを抑制しつつ少人数授業を維持することは学校経営にとって決して容易でないが、将来の改革や環境整備を視野に入れ適正に収支バランスを取ることに取り組んでいる。教育環境の整備・改善、教員補充、情報化・システム化のための財源を確保することが課題となっている。将来展望をもって成長できるように中期計画に則った単年度計画の実現及び中長期的な財政基盤安定のために努力している。なお、公認会計士、監事により適正な会計監査を行った財務諸表をホームページ上に公開している。

(1 1) 法令等の遵守

	評 価 項 目	評価
法令等の 遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
	自己評価結果を公開しているか	4
	学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
	学校関係者評価を公開しているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

学校運営や教育活動は、適正な学内手続きを経て実施しており、法令・規程順守には常に留意しており、チェック機能が有効に働いていると評価できる。個人情報保護にも細心の注意を払っている。また、自己評価・学校関係者評価は学校運営や教育活動を振り返り、改善していく良い機会と考えている。

(1 2) 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	評価
社会貢献 地域貢献	英語教育資源を活用した中学校教員への支援	3
	英語教育資源を活用した中学生への支援	3
	英語教育資源を活用した地域への支援	3
	生徒にボランティア活動を奨励、支援しているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

本校の教育力(外国人教員による英語教育力)を活用して中学校の英語教育力向上に資するように、毎年、英語教員を対象に英語研修プログラム(Brush Up Lesson)を開講し、中学生を対象に英語によるコミュニケーション力向上講座を実施している。現在の教職員体制では、地域住民に対して公開講座を開設する余裕はない。しかし、2年生を中心に地域活動ボランティアサークル(地域児童に英会話を教える活動

など) を立ち上げ、生徒たちの能力・特質を生かした地域活動が始まっている。

以上

【2023年度学校関係者評価】

学校評価に関する本校規程に従い、2023年9月16日に学校運営・教育活動に関する学校関係者評価委員会を実施しました。外部有識者1名及び保護者代表（PTA役員）5名の計6名が出席し、「2023年度（令和5年度）自己評価」について検討しました。教職員6名が陪席し、教育活動などについて必要に応じて説明しました。自由な雰囲気の中で議事が順次進められ貴重な意見が多数出されました。学校関係者評価委員会での議論を以下にまとめ公表させていただきます。

関西インターナショナルハイスクール
（関西外語専門学校 国際高等課程）
学校長 花畑 好一

学校関係者評価委員会 2023年9月16日（土）12:30～14:30 本校 B01号教室で実施
出席した学校関係者評価委員 計6名

外部有識者 1名（奈良県立高校社会科教諭を歴任。現・奈良教育大学特任講師）

保護者代表 5名

※陪席 教職員6名（教頭、英語科主任、社会科主任、国語科主任、進路指導主事ほか）

事前送付資料 1) 『2023年度（令和5年度）自己評価』

2) 『2020-2022年度【学年末】学校診断（生徒）』（アンケート結果）

3) 『2020-2022年度【学年末】学校診断（保護者）』（アンケート結果）

委員会の冒頭、学校関係者評価委員会の趣旨及び主な議題及び委員会実施予定時間を確認した。また、参加委員、陪席教員の忌憚のない意見を交換することで、教育活動の改善につながることも確認した。

議論の進め方については、限られた時間で有益な議論を実施するため、自己評価に記されている「2022年度（令和4年度）の重点的な取組事項」を最初に確認したうえで、自己評価検討の目的で議論することについても確認した。

議論した主な項目は次の通りである。

1. 英語教育
2. 社会科・国際教育
3. 国語教育
4. 少人数教育・アクティブラーニング
5. 進路指導・受験指導
6. その他

主に上記項目について議論し、自己評価を検討した結果、自己評価は妥当であることを確認した。

なお、委員会での主な意見・コメントは次の通りであった。なお、KIHS (KI) は本校のこと。

< 1. 英語教育 >

英語科教員 (陪席) : 従来のレベル 1~6 の名称変更及びプレースメントテスト (レベル分け試験) 改訂について、従来のレベル分け試験で編成したレベル別クラスでは、生徒の実際のレベルと乖離があるのではないかという疑問があり、精査する必要があったこと、従来は GTEC アセスメント版を用いて試験を行い、データを出して英検や英語の授業の成績なども照らし合わせてレベルを振り分けていたが、今回の改訂ではケンブリッジ英検を使用し、CEFR の C 2~A 1 の基準を軸に作り直し、リスニングは IELTS を使用したことが報告された。こうしたことにより画期的な進歩がみられ、レベルごとにまとまって能力のばらつきが無い状態になったとネイティブ教員も感じている。

教頭 (陪席) : 習熟度別クラスの英語授業については圧倒的にネイティブ教員による授業数が多いことから、実用・活用力主体のケンブリッジ英検に変えたことによって、英語の実践力・活用力を重視して、学校としてもネイティブ教員の視点からしても、よりマッチした良い変化になったと感じている。

英語科教員 (陪席) : 2021 年度より英語の文法の授業を学年科目に組み込んでいます。教室内でさまざまなレベルの生徒と一緒に学ぶことにより、お互いに教え合ったりして良い刺激になっていると感じている。

保護者 : 昨年の後期から編入したが、去年のレベル分けだと、すごく英語を話せるのにレベル 3 にいる生徒がいたりして、なぜそういったことが起こっているのかが疑問に思っていたが、今年のレベル分けではそういったことは子どもからも聞かない。

保護者 : 子どもは受験勉強の中でも文法力が苦手と言っているが、テレビでオリンピックのインタビューなども聞き取れている様子を見ていると、英語が伸びてきているのを感じている。

保護者 : レベルのクラスだと先輩と話したりして刺激を受けているようだ。子どもは自身のレベルがなぜ Advanced なのか疑問をもっているようだ。

保護者 : 子どもは英語を話すことには抵抗がないが、書くのが苦手。レベルのクラスではスピーキングは物足りないが、ライティングはしんどい思いをしているのではないかと想像している。文法もとても弱い。子どもの中でどのように辻褄を合わせているのかが疑問。

外部有識者 : 小学校から高校の社会科の先生を育てる仕事をしている。得意な生徒が苦手な生徒に教えることで得意な生徒の成績も伸びるデータが出ている。小・中・高でもそういった協働学習が有効でペアワークやグループ学習が非常に盛んにおこなわれているので、KI は先端をいっていると言える。

< 2. 社会科・国際教育 >

社会科主任 (陪席) : 模擬国連 (MUN) に関してはオンラインよりも対面の方が、生徒の満足度は高いのはもちろんなのだが、オンライン上で何かを成し遂げることは今後にも必要になるので、体験しておいて損はないと思う。社会科はペアワークやグ

ループワークなどが非常にやりやすい科目ではあるので、先生も授業の中で発表・プレゼン・リサーチを頻繁にさせている。生徒たちも先生の話をしている時間よりもイキイキしている。インターネットの普及でどのような情報でもすぐに手に入るこの時代では、情報を記憶することや調べるということも重要視されなくなる。昔ながらのレクチャー形式の教科書の内容をなぞる授業も然り。調べた情報をどう自身の中で解釈して処理して実社会や自身の利益に繋げていくかが今後必要になってくる技能だと思う。それを体感的に高校生のうちからできて協同する楽しさを通して自身の成長を実感することが大きい。

教務主任（陪席）：社会科は1年生のうちは基礎的知識をしっかり身に付けて、2年生で自身の身近な問題について考え、3年生は自分なりの解決法を見出すのに模擬国連を集大成として実施している。

保護者：模擬国連の勉強をしていく中で、新聞を読んだりネットで調べたり、興味を持ってきたなと感じる。模擬国連の後はワクワクして帰ってくるので、良い経験をしていると思う。

保護者：転校先を迷っているときに、母としては他校を勧めていたが、子どもがKIを気に入った。前籍校の授業では先生が一方的に話すだけで、生徒の意見も聞かない。KIは先生も話すけど、同じくらい生徒も発言する。子どもは、当時は積極性がなく、大勢の前で発言ができない自分を変えたくて、自分の意見を言えるようになるような授業をしている学校に行きたいと言った。子どもが行きたい学校に行かせたが、結果として本当に良かった。家で話すことが変わった。家に帰ってきたらワクワクして学校で学んだことを話してくれる。すごく授業が楽しいようで視野が変わった。自分の意見もしっかりと言えるようになった。

保護者：子どもは元々は積極的に何かをするタイプではないが、周りの刺激を受けていろんなことを体験したくなっているようだ。そんな姿をみて成長を感じている。

保護者：以前、差別についての講演でゲストスピーカーが学校に来て、質疑応答の時に1人の生徒が「差別と区別の違いは何ですか？」とすごく良い質問をしていたらしい。子どももその答えを聞こうと興味津々だったが、明確な正解はないと言われ、明確な正解が欲しかったと子どもは少し不満げに話していた。しかし、それが実社会であると思う。明確な答えはないと言われたことに納得しておらず、悩んでいるようだった。私もその質問が高校生から出たのがすごいと思った。

保護者：KIに入ったのが、もともと社会が好きなのが志望理由だった。家では質問してもあまり返事が返ってこないが、学校では子どもはどうですか？

英語科主任（陪席）：息子さんは3年間ですごく変わりました。1年生のときは自ら発言していくタイプではなかったが、たまにしてくる質問がとても鋭い。静かな意欲を沸々と感じる生徒だった。2年生ではディベートの時間でも自分の意見をしっかり持つようになった。英語もとても綺麗な英語で話せるようになった。3年生では模擬国連でリーダーもやり、いろんな壁を一つ一つ超えることで成長し、とてもよく頑張っている。

保護者：前の学校では個性を出すことが恥ずかしいという思いが本人にあった。KI

は精神的に自立している子が多い。一人で何でもできる子が多い。そんな周りの子を見て、自分も追いつかないと思ったようだ。個性を認め合っている環境というのが子どもを見ていて感じる。

外部有識者：KI では生徒がお互いを認め合っている風土がある。小学校・中学校・高校を回って気づくことだが、小学生は発言も盛んにするが、中学生あたりからそうではなくなってきた、高校生になると同調圧力が強いように思うが、KI は少し違う。学びにも、日本だけの視点ではなく世界からの視点を持つことがとても大切。日本の学校の道德の授業でも「差別はいけない」と教えるが、差別とは何かということや、なぜ差別がいけないのかは教えない。「差別をしてはいけない」というただの説教で終わってしまう授業が多い。結局そういったことを考えずに大人になってしまうことが多い現状。

社会科主任（陪席）：日本の学校教育の課題を SDGs の学校教育の観点から授業で取り上げたときに、生徒の一人が「道德という授業が学校の授業にあるのが問題だ」と言っていた。将来、こういう先生になりたい、こういう学校を作りたいなど、教育に関心がある生徒が多い。

< 3. 国語教育 >

国語科主任（陪席）：本校にはさまざまなバックグラウンドの生徒がいるため、国語力の差が大きく、「国語」をどう捉えていくのかが問題。

「古典」をどうするかが毎年の課題。2022年度は2年生まで「古典」を残していたが、KI のカリキュラム上、英語と社会の時間数を優先し2023年度から2年生の「古典」をなくしている。1年生でもなくすかの議論をするが、必要な生徒もいるため「古典」2コマ、「国語」2コマとしている。「古典」は選択科目や集中科目で選んで学習する方法をとり、2~3年様子を見ようと思う。

< 4. 少人数・アクティブラーニング >

外部有識者：コロナ禍が収束し、潮目が変わってきていると感じる。国際系の学科が増えてきているが、20人という少人数教育は他の一般校ではなかなかむずかしいところではある。先進してKI が行ってきた少人数教育は、KI の独自性が発揮できる。

< 5. 進路指導・受験指導 >

進路指導主事（陪席）：進路に関しては、毎年多岐にわたっている。主に、推薦入試を使っただけの進学だが、留学や就職など、生徒の希望の進路を実現することを方針に掲げ、一人一人の進路を応援している。KI の学習内容や模擬国連（MUN）は、KI で何を頑張ってきたのかをアピールしやすい。そのため、選抜入試や推薦入試で自分をアピールする子が多い。そのアピール方法について、生徒と相談しながら指導している。

少数ではあるが、あえて一般入試で受験する子も一定数増えてきている。入試を通じて自分でチャレンジして成長していくことで将来に役立つ。引き続き、本人たちと話をしながら希望に沿うように頑張っていく。

保護者：先生の指導の下、ギリギリ出願することができた。途中、気になって願書

を確認したりしたが、最後にはきっちりしたものが出来上がっていて、しっかり見てもらっていたと思う。

保護者：KIに入ったときから一般入試での受験を考えている。総合型選抜を薦めてみても、頑張ったと胸を張って言える事柄がないので、自分は一般入試で頑張ると言っている。塾にも行ってないし、最近赤本を買って勉強したところ。共通テストの願書も書いているが、進路担当の先生は締め切りが近い子の添削に忙しいから、落ち着いたら見てもらうと言っている。

保護者：前籍校では5教科7科目が当たり前のような学校に通っていた。今は受験科目を3教科に絞った。一般入試で受けようと思っていたが、塾の先生からなかなか成績が伸びないから一般入試は厳しいと言われたが、英検準1級を持っているなら公募制推薦で受けてみては、とアドバイスされた。夏休みは公募制推薦の課題ばかりで、一般入試の勉強がおろそかになっていた。本人は一般入試の勉強と公募制推薦の勉強の時間配分がわからないと言っている。先生に相談すると言っているので、よろしくお願いします。

外部有識者：奈良教育大学は教員を育てるところだが、実際に教員になるのは7割で、3割は民間企業に就職する。昨今の教職離れもあるが、大学に入ってから進路変更する学生が非常に多く、高校時代に偏差値だけで進学先を決めていることが多かった。進路変更することは悪いことではないが、高校時代に自分を見つめ直すことをしなかった人は大学時代に進路変更する時に、なかなか自分の将来を描けない。高校時代の進路指導は自分自身を見つめ直す良い機会。そういう意味で、KIでやっている総合型選抜のための進路指導で自分を見つめなおすことは必要だと考える。もう一つは海外留学に関して、オーストラリアの例を挙げるが、円安のため学費が4年間で1,500万円程度かかる。現地の人も子どもを大学に行かせられないと言っている状況。海外留学には、経済的なサポートが受けられるかどうかだと思う。海外に出ることは意義のあることだから、日本の大学の交換留学などを利用する方法もある。

保護者：子どもは2年生なので、進路に関しては月ごとに言っていることが変わる。周りの話を聞いて刺激を受けて、どこかに着地してもらいたい。

社会科主任（陪席）：KIの良いところは、3年生が頑張っている姿を、2年生が近くで見ることができる。これから、もっと色々な刺激を受けることができると思う。

保護者：子どもに進路について聞いてみたりするが、本人はそれを聞かれるのが嫌らしく、「それ以上言わないで」と言われてしまう。本人なりに考えているのかな、というくらいしか今は分からない。姉（KI卒業生）はしたいことがあって希望の大学に行ったが、卒業時は違う進路を選択しました。「違う進路を選択してごめんね」と言われたが、したいことを見つけるために大学に行って勉強をするので気にしなくていい、という話をした。今は働いているが、お金を貯めて資格を取るためにオーストラリアに行くというビジョンを持っている。KIに来て成長したおかげかなと思っていて、妹もそうなってくれるよう願っている。

外部有識者：進路で海外を選択する場合、進路ではワーキングホリデーがすごく多くなっている。日本円で時給が2,500円、専門的な分野になると時給5,000円になることもある。

社会科主任（陪席）：KI 卒業生もコロナ禍が終わり、海外に行きたかった生徒たちが行き始めている。ただ、ワーキングホリデーが増えすぎていて、仕事が見つからなくなっているという側面も出てきている。ワーキングホリデーは、ワーキングホリデービザを取得し、それを持っていればアルバイトに申し込めるという仕組みなので、肝心の仕事がないと資金難に陥って帰国せざるを得なくなる。為替の状況や現地の物価高のせいで、あらかじめお金を貯めてからでないと行けないという話も聞く。自分で行くよりも、学校からの留学制度を利用していく方が将来的に良いかもしれない。シェアハウスなど工夫することもできるので、情報収集をしっかりとすることが大切。

< 6. その他 >

教頭（陪席）：今後のご意見などがあれば、学校としてはできるだけ生徒、保護者のご意見をお聞きしながら改善できるところは改善して、柔軟な対応をしていきたいと思っている。

学校関係者評価委員会では、自己評価について検討する中で、以上のような意見・コメントが出され、自己評価は妥当であることを確認した。

「生きた英語」を学びたくて、KIHSを志願した。	よく あてはまる 62.4%	やや あてはまる 21.3%	あまり 当てはまらない 11.5%	まったく 当てはまらない 0.8%	わからない (判断できない) 4.0%
KIHSを志願した際、日本(社会)のグローバル化を意識した。	よく あてはまる 46.5%	やや あてはまる 23.5%	あまり 当てはまらない 19.9%	まったく 当てはまらない 5.6%	わからない (判断できない) 4.5%
KIHSへ登校するのが楽しい(楽しくなっている)。	よく あてはまる 50.3%	やや あてはまる 28.6%	あまり 当てはまらない 16.3%	まったく 当てはまらない 3.9%	わからない (判断できない) 1.0%
KIHSの生徒として誇りをもっている。	よく あてはまる 45.3%	やや あてはまる 28.6%	あまり 当てはまらない 22.1%	まったく 当てはまらない 2.3%	わからない (判断できない) 1.7%
KIHSの教職員は生徒の気持ちや思いをよく理解してくれる。	よく あてはまる 45.3%	やや あてはまる 38.7%	あまり 当てはまらない 13.6%	まったく 当てはまらない 1.0%	わからない (判断できない) 1.5%
KIHSの教職員は叱咤激励してくれる。	よく あてはまる 52.7%	やや あてはまる 32.5%	あまり 当てはまらない 12.3%	まったく 当てはまらない 1.8%	わからない (判断できない) 0.7%
KIHSで有意義な高校生活を送っている。	よく あてはまる 58.2%	やや あてはまる 28.5%	あまり 当てはまらない 11.7%	まったく 当てはまらない 0.7%	わからない (判断できない) 1.0%
授業が楽しい。	よく あてはまる 45.2%	やや あてはまる 38.8%	あまり 当てはまらない 15.3%	まったく 当てはまらない 0.8%	わからない (判断できない) 0.0%
授業は自分にとって有意義で、多くのことを学んでいる。	よく あてはまる 51.4%	やや あてはまる 40.4%	あまり 当てはまらない 5.8%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 2.3%
昨年の4月に比べて自分の英語力は向上したと思う。	よく あてはまる 64.5%	やや あてはまる 23.1%	あまり 当てはまらない 9.1%	まったく 当てはまらない 0.8%	わからない (判断できない) 2.5%
外国人の先生の授業では、英語で発言する機会が多い。	よく あてはまる 64.5%	やや あてはまる 24.9%	あまり 当てはまらない 10.7%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 0.0%
世界のことや国際的なことをこの1年でたくさん学んだ。	よく あてはまる 65.0%	やや あてはまる 25.8%	あまり 当てはまらない 8.4%	まったく 当てはまらない 0.8%	わからない (判断できない) 0.0%
授業のおかげで、この社会やいろんなことに関心を抱くようになった。	よく あてはまる 59.0%	やや あてはまる 24.0%	あまり 当てはまらない 11.4%	まったく 当てはまらない 3.2%	わからない (判断できない) 2.4%
授業で分からない点があれば、あとで先生に個人的に質問できる。	よく あてはまる 59.1%	やや あてはまる 29.2%	あまり 当てはまらない 8.4%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 3.3%
先生は熱心に授業に取り組んでいる。	よく あてはまる 55.8%	やや あてはまる 32.2%	あまり 当てはまらない 8.7%	まったく 当てはまらない 0.8%	わからない (判断できない) 2.5%
生徒の悩みや思いを受け止め、適切なアドバイスをしてくれる先生がいる。	よく あてはまる 62.5%	やや あてはまる 28.6%	あまり 当てはまらない 6.7%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 2.3%
担任の先生は親身に相談にのってくれるので信用している。	よく あてはまる 63.0%	やや あてはまる 27.3%	あまり 当てはまらない 6.6%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 3.1%
先生のアドバイスは人権尊重に基づいており、体罰などはない。	よく あてはまる 70.4%	やや あてはまる 22.3%	あまり 当てはまらない 4.2%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 3.1%
自分の将来進路について考える機会が提供されている。	よく あてはまる 72.6%	やや あてはまる 20.7%	あまり 当てはまらない 5.2%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 1.6%
授業やHR、先生のアドバイスは進学など将来進路の実現に役立つと思う。	よく あてはまる 64.5%	やや あてはまる 26.6%	あまり 当てはまらない 5.8%	まったく 当てはまらない 0.8%	わからない (判断できない) 2.3%
卒業生の進路状況や進路実績を評価している。	よく あてはまる 58.3%	やや あてはまる 25.1%	あまり 当てはまらない 9.3%	まったく 当てはまらない 0.8%	わからない (判断できない) 6.5%
学校行事・課外活動は充実している。	よく あてはまる 45.2%	やや あてはまる 29.8%	あまり 当てはまらない 15.8%	まったく 当てはまらない 6.4%	わからない (判断できない) 2.8%
学校行事・課外活動を通じてさまざまな経験ができる。	よく あてはまる 49.5%	やや あてはまる 26.1%	あまり 当てはまらない 13.9%	まったく 当てはまらない 8.3%	わからない (判断できない) 2.3%
学校行事・課外活動を通じて生徒間の交流ができる。	よく あてはまる 47.6%	やや あてはまる 26.5%	あまり 当てはまらない 21.3%	まったく 当てはまらない 3.9%	わからない (判断できない) 0.7%
教室その他、施設は清潔であり、必要最小限の施設設備は整っている。	よく あてはまる 65.8%	やや あてはまる 25.1%	あまり 当てはまらない 8.3%	まったく 当てはまらない 0.8%	わからない (判断できない) 0.0%
防犯面の管理が行われていて、安心して学校生活を送れている。	よく あてはまる 64.6%	やや あてはまる 25.6%	あまり 当てはまらない 6.6%	まったく 当てはまらない 0.7%	わからない (判断できない) 2.5%
事務職員は親切に対応してくれる。	よく あてはまる 75.9%	やや あてはまる 19.7%	あまり 当てはまらない 3.4%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 1.0%

KIHSを志願した際、日本(社会)のグローバル化を意識した。	よく あてはまる 54.0%	やや あてはまる 31.7%	あまり 当てはまらない 7.9%	まったく 当てはまらない 6.3%	わからない (判断できない) 0.0%
KIHSを志願した際、「生きた英語」の必要性を意識した。	よく あてはまる 76.2%	やや あてはまる 17.5%	あまり 当てはまらない 3.2%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 1.6%
KIHSの方針や教育活動全般について保護者として賛同している。	よく あてはまる 63.5%	やや あてはまる 27.0%	あまり 当てはまらない 6.3%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 1.6%
KIHSに子どもを入学させてよかったと思う。	よく あてはまる 63.5%	やや あてはまる 30.2%	あまり 当てはまらない 4.8%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 1.6%
KIHSの教職員は生徒の気持ちや思いをよく理解してくれるようだ。	よく あてはまる 47.6%	やや あてはまる 38.1%	あまり 当てはまらない 7.9%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 4.8%
KIHSの教職員は生徒をよく叱咤激励しているようだ。	よく あてはまる 34.9%	やや あてはまる 38.1%	あまり 当てはまらない 15.9%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 9.5%
KIHSで有意義な高校生活を送っているようだ。	よく あてはまる 54.8%	やや あてはまる 32.3%	あまり 当てはまらない 9.7%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 3.2%
授業は楽しいようだ。	よく あてはまる 39.7%	やや あてはまる 47.6%	あまり 当てはまらない 7.9%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 4.8%
有意義な授業が多く、多くのことを学んでいるようだ。	よく あてはまる 44.4%	やや あてはまる 42.9%	あまり 当てはまらない 6.3%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 6.3%
KIHSに入学してから英語力は向上したようだ。	よく あてはまる 63.5%	やや あてはまる 20.6%	あまり 当てはまらない 7.9%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 7.9%
外国人の先生の授業では、英語で発言しているようだ。	よく あてはまる 54.0%	やや あてはまる 30.2%	あまり 当てはまらない 6.3%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 9.5%
授業で分からない点があれば、後で先生に個人的に質問できるようだ。	よく あてはまる 41.9%	やや あてはまる 32.3%	あまり 当てはまらない 8.1%	まったく 当てはまらない 3.2%	わからない (判断できない) 14.5%
この社会や世界のことに関心を持つようになったようだ。	よく あてはまる 42.9%	やや あてはまる 34.9%	あまり 当てはまらない 15.9%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 6.3%
先生は熱心に授業に取り組み、よく指導してくれているようだ。	よく あてはまる 44.4%	やや あてはまる 42.9%	あまり 当てはまらない 4.8%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 7.9%
先生は、生徒の悩みや思いを受け止め、適切なアドバイスをしてくれる	よく あてはまる 34.9%	やや あてはまる 44.4%	あまり 当てはまらない 11.1%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 9.5%
保護者として、担任をはじめとして教職員に相談しやすい。	よく あてはまる 49.2%	やや あてはまる 25.4%	あまり 当てはまらない 15.9%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 7.9%
担任は、生徒の個性や資質を踏まえて、適切な指導をしている。	よく あてはまる 42.9%	やや あてはまる 36.5%	あまり 当てはまらない 9.5%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 11.1%
以前と比べると、子どもの学習意欲が高まり学力が向上している。	よく あてはまる 39.7%	やや あてはまる 36.5%	あまり 当てはまらない 20.6%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 3.2%
子どもの素質や希望を受け止め、適切な進路指導がなされている。	よく あてはまる 34.9%	やや あてはまる 39.7%	あまり 当てはまらない 9.5%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 15.9%
卒業生の進路状況や進路実績を評価している。	よく あてはまる 38.1%	やや あてはまる 42.9%	あまり 当てはまらない 4.8%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 14.3%
学校行事・課外活動は充実していると思う。	よく あてはまる 20.6%	やや あてはまる 49.2%	あまり 当てはまらない 20.6%	まったく 当てはまらない 4.8%	わからない (判断できない) 4.8%
学校行事・課外活動を通してさまざまな経験をしているようだ。	よく あてはまる 28.6%	やや あてはまる 46.0%	あまり 当てはまらない 12.7%	まったく 当てはまらない 4.8%	わからない (判断できない) 7.9%
子どもは学校へ行くのが楽しいようだ。	よく あてはまる 47.6%	やや あてはまる 34.9%	あまり 当てはまらない 11.1%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 4.8%
KIHSでは、良い交友関係が築かれているようだ。	よく あてはまる 55.6%	やや あてはまる 31.7%	あまり 当てはまらない 7.9%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 3.2%
個人情報やプライバシーが守られ、人権が尊重されている。	よく あてはまる 38.1%	やや あてはまる 31.7%	あまり 当てはまらない 14.3%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 14.3%
教職員から家庭への事務連絡はきめ細かく行われている。	よく あてはまる 46.0%	やや あてはまる 39.7%	あまり 当てはまらない 11.1%	まったく 当てはまらない 1.6%	わからない (判断できない) 1.6%
学費・奨学金など、事務局の職員は、適切に対応している。	よく あてはまる 68.3%	やや あてはまる 27.0%	あまり 当てはまらない 3.2%	まったく 当てはまらない 0.0%	わからない (判断できない) 1.6%